

平成 24 年度 外部評価による事業仕分け実施について

目的

行政経営資源の適正配分
市の財政状況などの市民理解向上

事業に対する行政の説明責任の徹底
職員のさらなる意識改革

基本的な考え方

これまで実施してきた事業について「事業の必要性」「適切な実施主体」「より効率的・効果的な実施方法」の観点で、公開で外部評価を行う。

そこでの議論、結果を受けて、市としての取組方針を策定し、次期行政改革プランに位置付けることで、計画的に事務事業の最適化を図っていく。

対象事業

市の内部評価による候補事業から、外部評価委員が対象事業を選定する。
合併・政令市 5 年を踏まえたテーマ設定による選定
従来型の個別事業の課題による選定

あわせ 20 事業

外部評価委員による事業仕分け

日程 平成 24 年 9 月 1 日(土)、2 日(日)
体制 外部評価委員 14 名、コーディネーター 2 名(2 班体制とし実施)
会議 事業概要、論点説明 議論 判定(1 事業 50 分)
区分 不要(廃止)、民営化、国県広域、市実施(民間活力拡大)
市実施(要改善)、市実施(拡大)、市実施(現行)の 7 区分

4 月～ 6 月 市の内部評価 全事務事業の総点検を実施し、候補事業を選定

7 月～ 9 月 外部評価委員による事業選定、事業仕分けの実施

7 月上旬 事業選定会議
・候補事業から、対象 20 事業を選定

8 月上旬 事前説明会議
・事業仕分け実施方法、模擬仕分の実施
・対象 20 事業の概要説明

9 月 1、2 日 事業仕分け外部評価会議

9 月～ 市の取組方針を策定、次期行政改革プランに反映
外部評価での議論、結果を受けて、市として作成